

試料・情報利用研究計画書(概要)

審査委員会 受付番号	2018-3002	利用形態	共同研究	利用する 試料・情報	試料:なし 情報:①性・年齢情報、②3層オミックス情報	
主たる研究機関	東京医科歯科大学			分担 研究機関	岩手医科大学 いわて東北メディカル・メガバンク機構	
研究題目	地域住民100名の白血球を用いた全ゲノム網羅的QTL解析			研究期間	平成30年5月10日～ 平成32年3月31日	
実施責任者	角田 達彦	所属	東京医科歯科大学難治疾患研究所		職位	教授
研究目的と意義	遺伝情報に基づく易罹患性の推定や疾患の機序の理解のため、全ゲノム関連解析(GWAS)により多数の疾患感受性多型が同定されている。しかし、大多数の疾患感受性多型は非コード領域に位置し、真の原因となる遺伝子が同定できないことが多く見受けられる。そこで、本研究では白血球を用いた全ゲノム網羅的QTL解析により、疾患感受性多型の網羅的アノテーションを行う。					
研究計画概要	iMETHYLデータベースに用いられている109名のゲノム・メチローム・トランスクリプトームデータを用いたQTL解析を行う。これらのデータを用いた予備的なQTL解析は、いわて東北メディカル・メガバンク機構で実施済みであり、本研究では解析結果を踏まえた追加解析の検討および実施を行い、QTL情報の補完を行う。得られたQTL解析結果に基づき、疾患感受性多型が影響を与える遺伝子を推定することで、新規疾患感受性遺伝子を探索する。					
期待される成果	本研究成果によって、新規疾患感受性遺伝子や疾患マーカーが同定されたり、遺伝型と臨床型との関係が解明されること、さらに疾患メカニズムの解明や簡便なスクリーニング検査が確立されることなどが期待される。					
これまでの倫理 審査等の経過	・国立研究開発法人産業技術総合研究所 倫理審査委員会において審議・承認(平成29年10月) ・岩手医科大学医学部 倫理審査委員会にて審議・承認(平成30年1月)					
倫理面、セキュリ ティー面への配慮	・東北メディカル・メガバンクの試料・情報分譲審査委員会の定めるセキュリティポリシーを遵守する。 ・解析結果は個人が特定できないように処理された後公表される。					
その他特記事項	主な資金源:東京医科歯科大学運営費					
(事務局使用欄)						
* 公開日 平成30年12月3日						
* 岩手医科大学いわて東北メディカル・メガバンク事業に協力された方で、本研究に限って試料・情報の利用を希望されない方は、下記までご連絡下さい。 岩手医科大学いわて東北メディカル・メガバンク機構 019-651-5110(5508/5509)						